



「日本語を学ぼう」から
「日本語で学ぼう」まで
についてお話しします。

新潟大学留学センター



新潟大学で学ぶ日本語について

知識として単に日本語をインプットするのは、ウェブ教材等を用いて個人でもできます。しかし自身の声を発信するための日本語力の養成は、独習ではとても困難です。そのため新潟大学では、発信するための日本語力を養成することに主眼を置いています。自分の主張を様々な場面に応じて日本語で的確に発信するためには、最適な日本語がその場ですぐに取り出せる状態で、まず頭に入っていなければ間に合いません。ではそのために必要なことは何でしょうか。それは今までの文法中心の言語学習観を捨てることです。考えてみてください。これまで文法中心の学習で、日本語による豊かな発信者にあなたはなれましたか。「これだけ頑張っているのに、まだまだうまく日本語で伝えられない」と思っている人がほとんどではありませんか。

文法を勉強したら、その言語をキッチリ学んだ気にはなります。しかし、それは「勉強した気になるだけ」であって、その言語の使い手になるためのトレーニングをしたわけではありません。日本語で発信できる「日本語の使い手」になるためには、日本語を操るためのトレーニングが必要なのです。

何らかのスポーツ経験者ならわかると思いますが、でたらめに動いていても上手にはなりません。そのスポーツが上手にできるようになるためには、基本の型を身に付ける必要があります。ですから日本語学習でもまず、この基本の型を身に付けるための地道な努力こそが求められるのです。地道な努力とは、同じことの繰り返しであっても、集中して継続し続けることです。それができれば、そして基本の型が身に付けば、そこから自然と自分の型は生まれてきます。自分の型とは、つまり応用する力です。繰り返し身に付けるという努力を続ければ、必ず誰でも応用する力にたどり着けます。

新潟大学では、この『基本の型』を身に付けるための授業は、「日本語を学ぶ」授業として発話・対話編、作文編に分けて開講しています。ある程度基本の型が身に付いている人には、上級者として『自分の型』の習得を目指し、さらに日本語に関する知識をインプットするための授業を開講しています。

また「日本語を学ぶ」授業以外にも、「日本語で学ぶ」授業では、実際に日本人学生と一緒に授業に参加できますし、日本社会・文化と日本人について「英語で学ぶ」授業もあります。

さらに、日本語教育について知りたいという人向けの「日本語教育について学ぶ」授業も用意しています。

日本語を学ぶ

〔国費学生対象授業〕 交換留学生は受講できません。

「集中日本語 0」：週 10 回・毎日 2 午前中コマ、すべて必須参加。欠席不可。

※文科省の奨学金支給を受ける国費外国人留学生。これに準じて、JICA プログラム学生、県費留学生学生も対象とします。
新潟大学での学位取得を目指す学生のみ。日本語日本文化研修生を含め、学位取得を目的としない学生は参加できません。

〔一般学生対象授業〕 交換留学生は受講できます。

—『基本の型』の習得を目指した授業—

《作文編》

「日本語作文 I-IV」

日本語による論文作成、レポート作成が必要な学生対象。

JLPT-N1 以上が望ましい。最低 JLPT-N2 が必要。

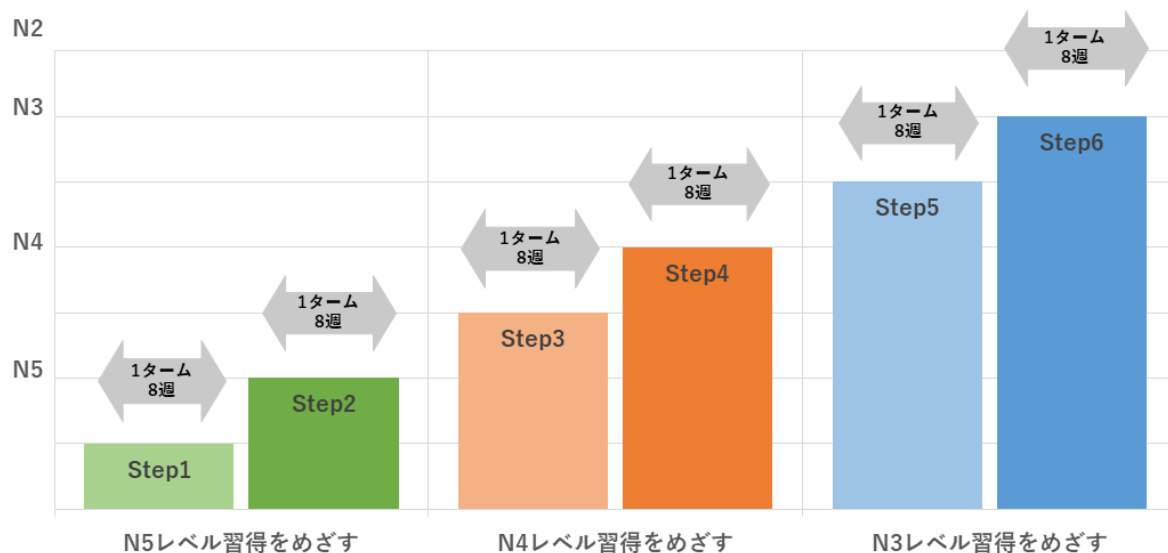
日本語作文 I-IV では、参加者それぞれの書いた日本語の「文章」を、その意図が正しく伝わるよう、論理的な展開を組み立てなおし、かつ構文的にも正しい日本語に修正した上で、書き直しの作業をする。加えて、適切な日本語で作文ができるように、教師が準備した日本語文章例の正確な書き写しも並行して行う。その際には、論理展開を理解することはもちろん、構文の間違い、助詞の間違い、漢字の送り仮名の間違いなどの排除も徹底することが求められる。

《発話・対話編》

「日本語 Step 1 - 6」

週 2 回・火曜日 1 限・木曜日 1 限の週 2 コマ、いずれも必須参加。

Step 1 - 6 では、誤解をまねかない日本語で発話できるように、モデルテキストの音読・暗誦を徹底して行う。その際はただ覚えればよいのではなく、必ず最適なリズムとトーンで発話することが求められる。



各ターム1科目のみ受講できます。

どのStepからでもスタートできます。

受講したStepに合格できなければ、次のStepを受講することはできません。

同じStepをもう一度受講してください。

〔一般学生対象授業〕 交換留学生は受講できます。

—『自分の型』の習得を目指した授業（さらに日本語に関わる知識をインプットする）—

「JLPT-N1/N2」

日本語能力検定試験対策講座

「日本語読解」

多読、速読即解を目指すので、JLPT-N2 以上が望ましい。

「英語による／中国語による日本語文法解説」

日本語の文法について、解説するレクチャー（一方向型）授業。

日本語で学ぶ

「多文化間共修 A/B/C」

「アクティブラーニング A/B/C」

「共生社会論 A/B」

「国際共修 A/B」

授業の内容をシラバスで
確認しましょう。

<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/life/class/course/>

英語で学ぶ

「日本と外国人」

日本語教育について学ぶ

「教員志望者のための日本語教育入門」

「日本語教育Ⅰ－A」

「日本語教育Ⅰ－B」

「日本語教育Ⅱ」

- すべての科目について、クラス分けテストはありません。自分のレベルを知るにはこちら日本語能力試験のページ📄を見てください。
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>
- どのクラスも正規学部生・協定校からの学部交換学生が優先です。クラスに余裕がある場合には、大学院学生も受講できます。
- クラスに余裕がある場合には、研究生も日本語 Step1～6 のいずれか、各タームにつき1科目の受講を認めます。すでに日本に来ている研究生に限定します。
- 学生の家族・研究員・外国人教員は受講できません。

大切なこと

1. 授業はすべてインターネットで

パソコンか、タブレットか、スマホを準備してください。

⇒ パソコンは、カメラ・マイクがあれば、デスクトップでも、ノートでも OK!

⇒ タブレットとスマホの人は、Zoom のアプリをダウンロードする。

※ Zoom が使えないと、受講できません。

2. 教科書を注文する

教科書があるかどうかを 6 ページで確認してください。

以下の手順で購入できます。

⇒ 「テキスト・教材申込書」をダウンロードする。

⇒ 申込書に記入して、凡人社にメールで送る。

海外にいる学生は、凡人社に支払い方法を相談する。

⇒ 凡人社からメールが届く。メールには、本のお金と送料が書いてある。

⇒ 代金引換か、クレジットカードでお金を払う。

海外にいる学生の支払い方法は、クレジットカード (VISA/MASTER) のみです。

⇒ 本が自宅に届く (代金引換は、このときにお金を払う)。

3. 受講登録は学務情報システムで

科目の登録は 9 月 21 日 (火) からです。

新入生は、10 月 1 日を過ぎてから登録してください。

第 3 ターム・2 学期科目の期限：第 1 回目の授業日の前日まで (10/3~10/7)

第 4 ターム科目の期限：10 月 7 日まで

《登録の手順》

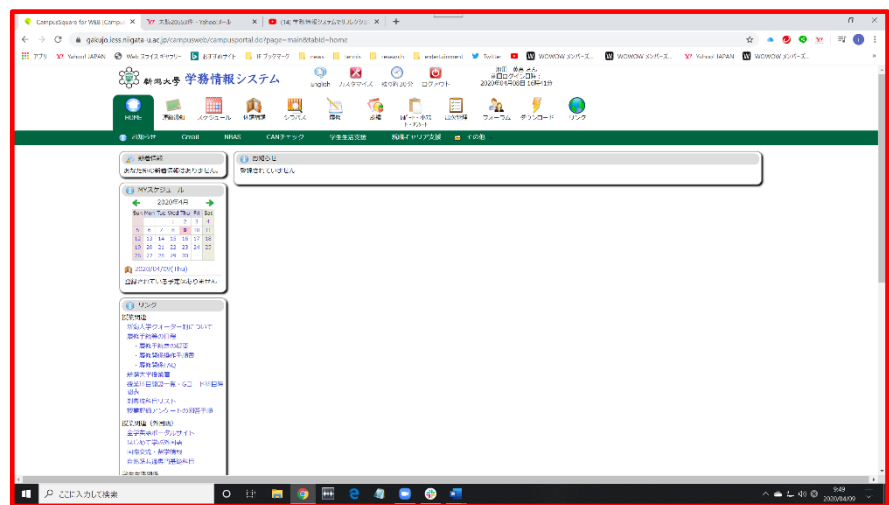
⇒ 学務情報で登録する。<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/life/class/course/>

⇒ 先生から E-mail が来る。指示に従って、クラスを受講する。

※ E-mail が届かない人は、登録ができていません。



Zoom



学務情報システム

第2学期（第3・第4ターム）日本語・日本事情関連科目 総表

- ◆『教科書がある』… ○印は事前購入が必要な科目です。その他の科目については開講後に案内される場合もあります。
- ◆第4タームより対面型授業を始める予定の科目がありますが、科目により対面型授業の開始が異なります。ご注意ください。
- 『●*1』… 第1回目はオンライン授業です。
- 『●*2』… 第3タームで参加者全員が新潟に到着していることが確認できれば、第1回目から対面型授業です。

【第3・4ターム通して開講】 ※第1回目の授業日の前日までに登録してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	代表教員	教科書がある	対面型授業	
							第3ターム	第4ターム
210G4519	JLPT-N1 C	1	第3,4ターム	月1	廣川 智	○	×	×
210G4520	JLPT-N2 D	1	第3,4ターム	月1	佐々木 香織	○	×	×
210G4526	日本語作文Ⅰ	1	第3,4ターム	月1	原口 こずえ	開講後案内	×	●*2
210G4527	日本語作文Ⅱ	1	第3,4ターム	月2	廣川 智	○	×	●*2
210G4528	日本語作文Ⅲ	1	第3,4ターム	水3	廣川 智	○	×	●*2
210G4529	日本語作文Ⅳ	1	第3,4ターム	水4	涌井 祐子	開講後案内	×	●*2
210G4530	日本語読解	1	第3,4ターム	月3	應 雋	○	×	×
210G4531	日本事情社会系 A	2	第3,4ターム	水2	須川 賢洋		×	×
210G4532	日本事情自然系 B	2	第3,4ターム	水3	鈴木 敏夫		×	×
210G3743	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーション B	2	第3,4ターム	木3	蒙 韜		×	●*2
210G3744	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解 B	2	第3,4ターム	月3	蒙 韜		×	●*2

【第3タームのみ開講】 ※第1回目の授業日の前日までに登録してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	代表教員	教科書がある	対面型授業	
							第3ターム	第4ターム
213G4501	英語による日本語文法解説 c	1	第3ターム	水2	池田 ルース	○	×	
213G4502	中国語による日本語文法解説 c	1	第3ターム	金2	應 雋	○	×	
213G4504	日本語 Step1	1	第3ターム	火1・木1	池田 英喜	○	×	
213G4505	日本語 Step2	1	第3ターム	火1・木1	廣川 智	○	×	
213G4506	日本語 Step3	1	第3ターム	火1・木1	有田 佳代子	○	×	
213G4507	日本語 Step4	1	第3ターム	火1・木1	廣川 智	○	×	
213G4508	日本語 Step5	1	第3ターム	火1・木1	佐々木 香織	○	×	
213G4509	日本語 Step6	1	第3ターム	火1・木1	池田 英喜	○	×	
213G3717	アクティブラーニング A: Unique Japanese Cultures	1	第3ターム	水1	池田 ルース		×	
213G3718	アクティブラーニング C: Globalization and anti- globalization	1	第3ターム	月3	足立 祐子		×	
213G3719	日本と外国人	1	第3ターム	木3	池田 ルース		×	
213G3723	多文化間共修 A	1	第3ターム	月5	廣川 智		×	
213G3724	多文化間共修 B	1	第3ターム	火5	有田 佳代子		×	
213G3725	多文化間共修 C	1	第3ターム	金1	センビリング 愛		×	
213G3726	国際共修：留学生と考える日中言語文化 A	1	第3ターム	火3	蒙 韜		×	

【第4タームのみ開講】 ※10月7日までに登録してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	代表教員	教科書がある	対面型授業	
							第3ターム	第4ターム
214G4510	英語による日本語文法解説 d	1	第4ターム	水2	池田 ルース	○		×
214G4511	中国語による日本語文法解説 d	1	第4ターム	金2	應 雋	○		×
214G4513	日本語 Step1	1	第4ターム	火1・木1	池田 英喜	○		●*1
214G4514	日本語 Step2	1	第4ターム	火1・木1	廣川 智	○		●*1
214G4515	日本語 Step3	1	第4ターム	火1・木1	有田 佳代子	○		●*1
214G4516	日本語 Step4	1	第4ターム	火1・木1	廣川 智	○		●*1
214G4517	日本語 Step5	1	第4ターム	火1・木1	佐々木 香織	○		●*1
214G4518	日本語 Step6	1	第4ターム	火1・木1	池田 英喜	○		●*1
214G3729	アクティブラーニング A: Unique Japanese Cultures	1	第4ターム	水1	池田 ルース			×
214G3730	アクティブラーニング B: Japan as A Country Producing Something Perfect	1	第4ターム	水1	池田 英喜			×
214G3731	日本と外国人	1	第4ターム	木3	池田 ルース			×
214G3733	多文化間共修 A	1	第4ターム	月5	廣川 智			●*1
214G3734	多文化間共修 C	1	第4ターム	金1	センビリング 愛			●*1